

ひかり

2021年6月号



Holy Baptism

日本聖公会 三光教会

第694号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟姉妹(きょうだい)がいる。神の御心を行う人こそ、私の兄弟、姉妹、また母なのだ。」

(マルコによる福音書 3・34)

信仰、真の自由

司祭 アモス金 キム デウオン 大原

英国を初めて訪問した時の喜びは筆紙に尽くしがたいものでした。その中で最も強烈だった記憶は、そんなに有名ではない小さい教会の中に座っていた時のことです。ロンドンの路地裏をうろろし、しばらく休もうと思つてたまま入った教会でした。何より路地裏の寂寞感が良かったです。道の突き当りにあった小さい教会に入った途端、足音を忍ばせねばなりませんでした。誰かがパイプオルガンを弾いていたのです。教会の中にオルガニストと私他には誰もいませんでした。静かに席に座ってオルガンの演奏に耳を傾けました。その美しい音色は礼拝堂の隅々に満ち、聖像を撫で、ついに私の心の中に入り込んで魂の隅々まで撫でさすりました。いきなり涙もなく涙がこぼれました。強いて感情を抑えようとしませんでした。癒しの時であり、回復の時でした。演奏が終わってもじつと座っているしかありませんでした。神の恵みに包まれていること

を頭ではなく全身で感じていたからです。神様と自分だけの付き合の時間であり、若い時代のどんな激情の時よりも、神学校時代と司祭になつてから義務的に出席していたどんな靈性プログラムよりも、もっと熱くてもっと強烈な経験でした。その空間とその時間の中で私は真の自由を味わうことができました。

信仰生活とはまさにこのようなものではないかと思えます。主のみ言葉と主の霊が自分の中で自由に活動する余白を設けること、忙しい日常の中で自分の心と魂が固くならないよう時間を割愛し、空間を設け、み前にひれ伏すこと、感覚的な世の波に飲まれることのないように錨を下ろすこと、これが信仰生活ではないでしょうか。

何も無いように見えるがらんとした空間の中にも分子は入っていて、その数が少ないから自由に動くことができます。でも、その空間の中に分子が増えると動ける余白はますます減っていき、分子がもっと増えてそれ以上入れない状態になると分子はちっとも動けなくなるはずで、最初の状態が気体であれば最後の状態は固体で

す。人間の心もこれと同じです。エゴに満ちている人は他人を受け入れることも、自分を変えることもできません。柔らかさは命の間であり、堅さは死の間です。心と精神の堅さも同じです。それで神様は預言者エゼキエルを通して「お前たちの体から、石の(ように頑なな)心を取り除き、肉の(ように柔らかい)心を与える」と告げられたわけです。

世の中が複雑であるほど、やらなければならないことが多いほど、感情の調節が難しいほど、主イエスが私たちの心の中で働かれる時間と空間を設けるべきです。イエスが私たちの中に来られ、癒され、回復してくださり、私たち皆が真理であられるイエスによって真の自由人となるように祈ります。「あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」



カット・金司祭

6月～7月の予定

◆6月

- 1日(火) 殉教者ジャスチン
- 3日(木) 聖餐感謝日 アフリカの殉教者
- 5日(土) 殉教者主教ポニフェース
- 6日(日) 聖霊降臨後第2主日
- 9日(水) 修院長コロンバ
- 11日(金) 使徒聖バルナバ
- 13日(日) 聖霊降臨後第3主日
- 14日(月) 主教教会博士バジル
- 20日(日) 聖霊降臨後第4主日
- 22日(火) 殉教者オルバン
- 24日(木) 洗礼者ヨハネ誕生日
- 27日(日) 聖霊降臨後第5主日
- 28日(月) 殉教者主教イレナエウス
- 29日(火) 使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日

◆7月

- 4日(日) 聖霊降臨後第6主日
 - 11日(日) 聖霊降臨後第7主日
 - 18日(日) 聖霊降臨後第8主日
 - 22日(火) マグダラの聖マリア日
 - 25日(日) 聖霊降臨後第9主日
 - 26日(月) 使徒聖ヤコブ日
- おとめ聖マリヤの母アンナ

神崎司祭からのお手紙

三光教会の皆様主のご復活をお祝い申し上げます。

昨年より、コロナ禍の中お礼拝を大切に思う三光教会では共に礼拝を捧げることが困難な状況、特に復活日礼拝もライブ配信だそうで、皆様どれほど残念に思いかとお察し申し上げます。又、私の方はいたって元気にのんびり暮らしています。食事を楽しみ過ぎて、少し横幅が成長しましたが、元氣です。

(退) 司祭 グレース神崎和子
※4月にお手紙をいただきました。
ました。

コロナ禍の中で

現在、公禱が休止されて1年近くが過ぎようとしております。今までは毎週のように皆さまと一緒に祈る時を持ち、食卓を囲み語らうという生活がコロナウイルスのため一変して、大勢で集まること、食卓を囲み語らうこと、おしゃべりすることなどが出来ず、どんな時が過ぎていっております。

そんな毎日ではありますが、三光教会はずっと同じ場所であり、今までと変わらず時を刻んでいます。

三光教会では礼拝に関しての祭壇奉仕(主日の日課朗読、奏楽、オルター)や清掃作業や植木と草花の手入れなどを行なって下さる方がいるおかげで変わらない毎日を送ることが出来ています。そんな日常をフラッと見に行らっしゃいませんか? 静かに皆様と対峙した後に、金司祭にお目にかかれるかもしれません。



ハヤマユリ



アガパンサス

教会のお庭から

〈アジサイ〉



〈オニユリ〉



教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。(休止中)

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■ 主日礼拝

- 午前 7:00 早祷・嘆願
- 午前 7:30 聖餐式
- 午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
- 午前 10:30 聖餐式
- 午後 4:00 夕の礼拝

■ 平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝6:30の早祷に引き続いて聖餐式